

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	大井川港における安全・安心な海岸づくりの推進（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	焼津市												
計画の目標	想定される津波及び台風等による高潮に対し、浸水対策を実施することにより、水害に強い海岸を作るとともに、安全・安心な市民生活と健全な企業活動の確保を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,365	A	1,365	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H28当初)	(H29末)	(R2末)
1	津波・高潮による背後地の浸水面積を低減させる。 津波・高潮による浸水区域面積	9 h a	6 h a	3 h a
2	海岸保全施設の老朽化状況を適切に把握し、今後の維持管理に関する負担を平準化させる。 海岸保全施設の長寿命化計画策定率 (維持管理計画が策定された施設数) / (維持管理計画を作成すべき施設数)	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	--	---------------	--

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
海岸事業	A09-001	海岸	一般	焼津市	直接	焼津市	高潮	港湾	大井川港海岸高潮対策事業	胸壁 L=1,200m 堤防（改良） L=568m	焼津市	■	■	■	■	■	1,350		—
	A09-002	海岸	一般	焼津市	直接	焼津市	老朽化	港湾	大井川港海岸堤防等老朽化対策緊急事業	長寿命化計画策定 1式	焼津市		■	■			15		—
											小計						1,365		
										合計						1,365			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

<p>事後評価の実施体制</p> <p>委員会は5人以内の委員で組織する。 委員は学識経験者や市民のうちから、市長が委嘱する。</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>令和4年度</p> <p>公表の方法</p> <p>市ホームページ</p>
---	---

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>胸壁整備により、津波・高潮対策による背後地の浸水区域面積を低減し、安全性の向上に寄与した。 2地区海岸の長寿命化計画を策定し、予防保全型の管理へ転換が図られた。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	

○特記事項（今後の方針等）

<p>次期社会資本総合整備計画（R3～R7）において、引き続き、海岸保全施設の整備を推進していく。</p>
---

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	3 h a	当初の事業計画では、胸壁の基礎を1本杭で想定していたが、詳細な設計を行ったところ、2本杭の基礎が必要となり、大幅な事業費が増えたことから、目標値を下回った。引き続き、海岸保全施設の整備を推進していく。
	最終実績値	7 h a	
2	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	